

令和4年度旭市総合教育会議の概要を紹介します

総合教育会議は、市と教育委員会が地域の教育に関する課題やあるべき姿を共有して、より一層市民の意見を反映した教育行政の推進を図ることを目的として開催しています。

令和4年度は、市の少子化対策事業「ストップ少子化大作戦」の教育委員会関連事業や部活動の地域移行などについて、意見交換を行いました。

第1回総合教育会議(11月24日開催)

学校・地域いきいきライフプラン推進事業

学校と地域がより密接な関係を築き、子どもたちのために地域全体で教育活動を支えていく取り組みです。

令和4年度は、矢指小・共和小・滝郷小・飯岡小・古城小をモデル校として、地域学校協働本部を設置し、地域コーディネーターを中心に活動を行いました。活動を通して見えた問題点や課題を検証し、市内全ての小・中学校に設置できるよう準備を進めています。

会議では、PTA活動との連携などの課題を含めた意見交換を行いました。

日本一身近な海づくり推進事業(ぼるぼる)

魅力ある旭の海や海岸を有効活用し、さまざまな人にレ

クリエーションやビーチクリーン活動などに参加してもらい、旭に「住み続けたい、住んでみたい」と感じてもらうことを目的とした事業です。

会議では、季節を問わず幅広い年代が楽しめる事業となるよう、ほかのイベントとタイアップするなどの意見がありました。

英語教育パワーアッププロジェクト

外国語教育を充実させるため、外国語指導助手や英語教諭補助員を増員し、小学1年生から中学3年生まで切れ目のない教育を進めています。

会議では、これまでの事業の実施状況を踏まえ、これからの英語教育について、児童生徒が楽しくコミュニケーションをとり、英語学習に対する意欲の向上と英語力アップにつながるプロジェクトとなるよう意見がありました。

第2回総合教育会議(2月7日開催)

部活動の地域移行

学校部活動を活性化するため、国のガイドラインに基づき、部活動の地域移行に向けた準備を進めています。

教職員を対象としたアンケート結果と、事業の進め方について説明を行い、今後の取り組みなどについて、問題点や課題を含めた意見交換を行いました。

会議の結果は市ホームページで見ることができます。



広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第7回

1993年(平成5年)4月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今号は広報いいおか平成5年4月号を紹介します。

国道126号飯岡バイパスの全線4車線が開通の記事が表紙を飾っています。飯岡バイパスは昭和47年に事業着手され、20年を経て平成5年に全線開通したそうです。

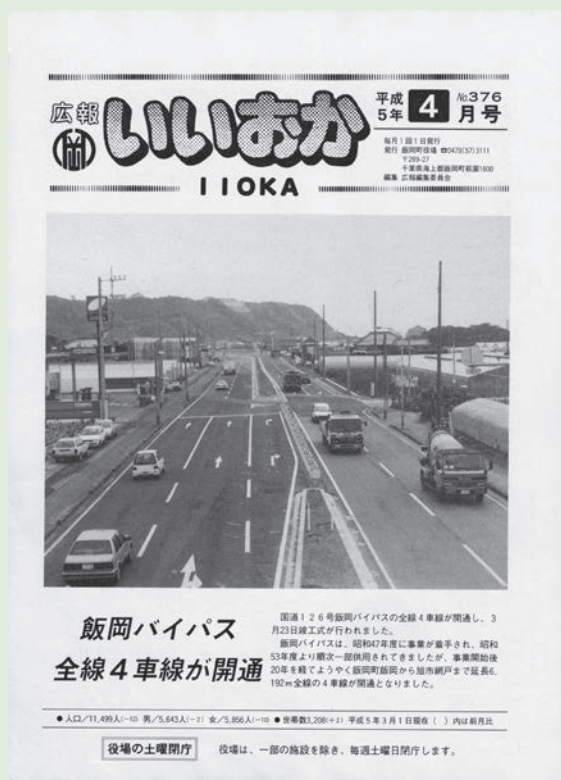
特集では、萩園公園にあるレストハウスが完成したことが報じられています。今ではおなじみの、海水浴客やサーファーが多く利用する施設は、この頃に建てられました。



特集記事

平成5年の主な出来事

- サッカー「Jリーグ」が開幕
- レインボーブリッジが開通
- 日本一高いビル(当時)横浜ランドマークタワーが開業



表紙